

日本地震学会 2019 年度秋季大会のおしらせ (第 3 報)

大会・企画委員会, 京都大会 LOC

日本地震学会 2019 年度秋季大会を下記の通り開催致します。発表を行うためには、オンラインシステムにおける講演申し込みと、投稿料の支払い及び秋季大会への参加登録が必要です。2. の投稿要領, および, 5. の参加登録についてよくお読みの上, お申し込みください。

1. 秋季大会の日程・場所

日程：2019 年 9 月 16 日 (月・祝) ~18 日 (水) 3 日間

場所：京都大学吉田キャンパス (京都府京都市左京区吉田本町)

2. 講演申し込み・投稿要領

予稿投稿, 事前参加登録, 投稿料の決済はオンラインシステム上で行います。投稿・参加申し込みサイト (<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>) からアクセスしてください。郵送や FAX による講演申し込みや予稿投稿は受け付けませんのでご注意ください。今年度からシステムが変更となり, 予稿投稿のためには, 事前参加登録を先に行う必要があります。下記の日程に注意してください。

予稿投稿期間	7 月 3 日 12 時~7 月 24 日 12 時(JST)
事前参加登録期間	7 月 3 日 12 時~8 月 6 日 12 時(JST)
オンライン決済期間	7 月 24 日 12 時~8 月 6 日 12 時(JST)

- ・ 講演申し込みの取り消しや訂正は, 予稿投稿の締め切り日時までシステム上で行えません。
- ・ オンライン決済期間中であっても, 決済完了後には決済内容の変更は行えませんのでご注意ください。
- ・ オンライン決済締め切り日時に“未決済”の投稿は取り消されます。必ず締め切り日時までにお支払いをお済ませください。
- ・ 上記の開始および締め切り日時はシステムの都合により変更される場合があります。変更がある場合は, 日本地震学会秋季大会ホームページ (<http://www.zisin.or.jp/>) 上でお知らせします。

2-1. 投稿料

講演申し込み1件につき3,000円 (税込み)

(ただし, 非会員による特別セッションの招待講演は無料)

2-2. ホームページアドレス

- ・ 日本地震学会秋季大会

<http://www.zisin.or.jp/>

- ・ 投稿・参加申し込みサイト

<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>

3. 講演種目

発表を希望するセッションは以下の一般セッション・特別セッションの中から選んで下さい。発表件数によっては、複数のセッションをまとめて構成する場合があります。

【一般セッション】

(S01) 地震の理論・解析法, (S02) 地震計測・処理システム, (S03) 地殻変動・GNSS・重力, (S04) テクトニクス, (S05) 地球熱学, (S06) 地殻構造, (S07) 地球及び惑星の深部構造と物性, (S08) 地震発生の物理, (S09) 地震活動とその物理, (S10) 活断層・歴史地震, (S11) 地震に伴う諸現象, (S12) 岩石実験・地殻応力, (S13) 地球化学・地下水, (S14) 地震予知・予測, (S15) 強震動・地震災害, (S16) 地盤構造・地盤震動, (S17) 津波, (S18) 地震教育・地震学史, (S19) 地震一般・その他, (S20) 学会各賞受賞講演会

【特別セッション】

(S21) 長周期地震動 –その生成から構造物の応答、社会の対応まで– [コンビーナ：青井真・久田嘉章・岡本國徳]

高層ビル等の長大構造物に被害をもたらす長周期地震動は、震源から距離の離れた地点であっても堆積平野に位置する大都市等において大きな揺れをもたらすため社会的影響が大きい。従って、長周期地震動においては発生・伝播・サイトからハザード評価や即時予測、さらには構造物の応答にいたるまで、様々な側面の研究が必要である。同時に、得られた研究成果を防災・減災に利活用し、社会が長周期地震動に対応するための検討も重要である。本セッションでは、長周期地震動に関する地震学から地震工学、地震防災にいたる幅広い研究の講演を募集する。

※本セッションは、地震工学会との合同特別セッションになります。

(S22) 地震学における機械学習の可能性 [コンビーナ：内出崇彦・小寺祐貴・久保久彦]

深層学習を含む機械学習技術の利用が急速に社会に浸透しつつある。画像データや時系列データといったデジタルデータの高度な処理が可能となり、これまでにない新たな情報を引き出すことに成功しつつある。本セッションでは、機械学習を活用して地震学及び関連研究領域の発展に貢献することを目指す研究発表を募集する。また、機械学習では「ブ

ラックボックス」化の懸念も往々にしてあることから、これへの対策に関する研究発表も歓迎する。

(S23) オープンデータと地震学 [コンピーナ：加納靖之・汐見勝彦]

研究データの公開と流通が学術の発展に不可欠な要素であるという考えが広がりつつある。地震学の周辺では、地震波形データをはじめとして公開・流通など先端的な事例がある一方で、データの生産に関わる研究者・技術者の評価などの課題も多い。研究データ共有の手段である永続的識別子付与やデータ出版などの取り組みについて、他の研究分野や国内外の情勢、各大学・研究機関での具体的な取り組みについて情報交換し、地震学の発展に寄与するデータ共有のあり方について考えたい。

4. 講演申し込みに関する注意

- ・ 2019年度秋季大会の講演申し込みの採択ならびにプログラム編成に関することは、大会投稿規則に基づいて行います。
- ・ 特別セッションの招待講演を除き、発表できるのは日本地震学会の正会員（一般・学生）と名誉会員のみです。発表を希望される非会員の方は、至急入会手続きをお取り下さい。日本地震学会への入会手続きは、「入会のご案内 (URL: <http://www.zisin.jp/info/admission01.html>)」をご覧ください。
- ・ 講演方法は「口頭もしくはポスター」「ポスター」のいずれかを選択することになります。「口頭もしくはポスター」を選択した場合は、大会・企画委員会で講演方法を決定します。同一人による発表は2件まで（うち口頭発表は1件まで）とします。ただし、招待講演はこれに含めません。
- ・ 招待講演の申し込みを行う際には、コンピーナからの指示に従ってください。
- ・ 講演申し込みが不採択となった場合は、8月13日（火）までに、その理由とともに登録されたメールアドレスに連絡致します。この際不服がある場合は、日本地震学会理事会に申し立てを行うことができます。不服申し立ての期限は、通知から72時間とします。
- ・ プログラム編成は大会・企画委員会が行います。発表方法（口頭・ポスター）や発表を希望するセッションのご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 口頭発表は4会場で行います。発表時間は質疑を含めて1件につき15分の予定ですが、講演申し込み数によっては変更することがあります。
- ・ 口頭発表会場では、パソコン接続用のPCプロジェクター1台が使えます。
- ・ ポスター板の大きさは、縦210cm、横90cm(縦長)です。
- ・ 締め切り後に被害地震が発生した場合などは、速報発表を受け付けることがあります。その場合は、日本地震学会秋季大会ホームページ (<http://www.zisin.or.jp>) でご案内しま

す.

5. 参加登録

大会への参加には参加登録が必要となります.

会員の皆様には事前参加登録（オンラインシステムによるクレジットカード決済）にご協力をお願いいたします. 事前参加登録をされると以下のメリットがあります. (1) 当日の受付がスムーズに進みます, (2) 当日参加登録よりも参加登録料が安くなります, (3) 予稿集（電子版）のダウンロードパスワードが事前に連絡されます, (4) 年会費を納入済みの方には名札と領収証が事前送付されます.

5-1. 参加登録料

正会員

一般（在学中でない学生会費適用会員を含む）

事前参加登録 8,000 円

当日参加登録 10,000 円

学生会費適用会員（大学院生）

事前参加登録 4,500 円

当日参加登録 5,500 円

学生会費適用会員（学部生以下）

事前参加登録 3,500 円

当日参加登録 無料（予稿集は含まない）

予稿集代金 3,500 円

シニア会員（2019年4月1日現在、70歳以上の正会員もしくは名誉会員）

事前参加登録 4,500 円

当日参加登録 5,500 円

賛助会員

事前参加登録 12,500 円

当日参加登録 12,500 円

非会員（当日登録のみ）

一般

当日参加登録 15,000 円

（特別セッションの招待講演者は無料）

大学院生

当日参加登録 10,000 円

学部生以下

当日参加登録 無料（予稿集は含まない）

予稿集代金 5,000 円

大会には参加せず、予稿集の閲覧のみを購入を希望する場合は、以下の代金で閲覧パスワードを販売いたします。パスワード購入希望の方は、下記の事項を明記して地震学会事務局まで電子メールでお申し込み下さい。なお、CD等記録媒体とともに購入をご希望される方は追加実費1,000円で申し受けます。

- ・購入者氏名・住所・電話番号・電子メール
- ・お支払い方法 郵便振替もしくは請求書発行（銀行振込）

申し込み・問い合わせ先

日本地震学会事務局

E-mail : zisin(at)tokyo.email.ne.jp

正会員・名誉会員 3,500 円

賛助会員 3,500 円

非会員（当日登録のみ） 5,000 円

※大会参加登録料・予稿集代はすべて税込み価格です。

5-2. 事前参加登録期間

7月3日12時～8月6日12時(JST)

5-3. 投稿・参加申し込みサイト

<http://www.zisin.or.jp/toukousanka>

5-4. 参加登録に関する注意

- ・ 事前参加登録をして頂いた会員には、予稿集ダウンロードのためのURLとパスワードがプログラム公開と同時期に連絡されます。大会期間前にダウンロードしていただくことをお願いいたします。当日参加登録の場合は受付で参加登録料と引き換えにお知らせします。
- ・ 事前参加登録をして頂いた会員で、事前参加登録締め切りまでに年会費を納入済みの方には、名札と領収証が事前に送付されます。受付を通らずに入場できますが、会場では必ず名札を着用してください。
- ・ 郵送された領収証の様式に問題がある場合には、必ず郵送された領収証を持参の上、

受付までお越してください。

- ・ 参加登録料に懇親会費は含まれません。
- ・ 非会員の方の事前参加登録は行いませんので、会場にて当日参加登録を行ってください。

6. 会議室等の使用申し込みについて

大会期間中に集会や打ち合わせのために会議室の使用を希望される方は、下記の事項を明記して下記担当者まで電子メールでお申し込み下さい。締め切りは8月16日（金）とします。

なお、使用できるのは昼休み及び講演終了後から21時までです。また、日本地震学会に関連する会合以外の集会等については、会議室使用料をお支払い頂くことになります。詳細は別途お問い合わせください。

- ・ 使用団体名・使用目的
- ・ 申し込み責任者（日本地震学会員に限ります）氏名、所属、電子メールアドレス、電話番号、FAX 番号。
- ・ 使用希望日時
他団体と使用希望日時が重なった場合、調整が必要となることがありますので、第2希望まで記入して下さい。
- ・ 参加予定人数
- ・ 特に必要な器材

申し込み・問い合わせ先

E-mail : katao(at)rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp

(担当： 京都大学 片尾浩)

7. 団体展示について

学会員へのPRの場となることが期待できますので奮ってご利用ください。出展を希望される企業・団体は7月19日（金）までに担当者までお申し込みください。展示小間は、（W180 cm×H210 cm）と長テーブル（W180 cm×D60 cm×H70 cm）が標準仕様です。申し込み時には、おおまかな消費電力量をお知らせ下さい。

申し込み・問い合わせ先

E-mail : noda.hiroyuki.7z(at)kyoto-u.ac.jp

(担当： 京都大学 野田博之)

8. 託児について

日本地震学会では、大会期間中の託児室開設と利用料金の補助を検討しています。託児を希望される方は、8月23日（金）までに下記世話人までご連絡ください。申し込み状況により、開設の有無を決定し、ご連絡いたします。

E-mail : zisin-diversity(at)mail.zisin.jp

(担当： 防災科学技術研究所 岩城麻子)

9. 学会各賞受賞記念講演

「若手学術奨励賞」を始め、学会賞の受賞者による受賞記念講演を予定しています。詳細は大会プログラムとともにご案内します。

10. 学生優秀発表賞

本賞は、学生による優れた研究発表を奨励し、研究発表技術の向上を目指すために設けている賞で、対象は「日本地震学会秋季大会において発表者として研究発表を行い」、かつ「審査対象となることを希望した在学中の正会員」です。口頭発表、ポスター発表、どちらも対象になります。

予稿採択時点で、今年度の学生会費適用申請書が日本地震学会事務局に提出されていることが必要条件となります。審査対象となることを希望するには、投稿する際に学生優秀発表賞の「審査を受けることを希望する」のボタンを選択していただきます。昨年度以前に同賞を受賞した学生は、今年度の授賞対象外となります。本賞に関する規定・選考基準は秋季大会ホームページをご覧ください。

11. 特別シンポジウム

今回の大会開催に合わせて、9月15日（日）15:00～18:00に、南海トラフ防災対応に関する特別シンポジウムを、京都大学吉田キャンパス理学研究科6号館301号室にて開催します。

12. 一般公開イベント

今回の大会開催に合わせて、9月15日（日）にキャンパスプラザ京都において「地震の教室」と「一般公開セミナー」を開催します。地震の教室では、親子向け教室と学校教員向け教室を開催します。一般公開セミナーでは、尾池和夫氏（京都大学名誉教授）、松澤暢氏（東北大学）、西村卓也氏（京都大学）による講演を予定しています。

・地震の教室（親子向け・教員向け）

(1) 親子向け教室「地震計を作って、ゆれを測ってみよう！」

日時：9月15日（日） 10:00～12:00（予定）

場所：キャンパスプラザ京都（京都駅より徒歩約5分）

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

対象：親子10組程度（中・高校生はこども同士も可）

参加費：無料

内容：簡単な材料で地震計を手作りし，地面や建物の揺れを測ってみます．パソコンにつなぎ，測定した揺れを目で見て実感できます．

事前申込：必要．

8月25日（日）締切．親子の氏名・学年を記し，日本地震学会2019年親子教室担当係まで，電子メール（宛先：[ssj2019-oyako\(at\)catfish.dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:ssj2019-oyako(at)catfish.dpri.kyoto-u.ac.jp)）でお願いします．

共催：京都大学防災研究所

協力：関西地震観測研究協議会地震防災教育ワーキンググループ

（2）教員向け教室「小中高の授業ですぐに使える地震を教える教材紹介」

日時：9月15日（日） 10:00 ～ 12:30（予定）

場所：キャンパスプラザ京都（京都駅より徒歩約5分）

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

対象：主に小・中・高等学校の教員

参加費：無料

内容：断層，地震の揺れ，液状化など理科授業で使える教材を紹介します．教材レシピも配布します（先着順）．デジタル地球儀「ダジック・アース」のデモもあります．

事前申込：不要．直接，会場へお越しください．

共催：京都大学防災研究所

協力：京都大学大学院理学研究科地球惑星科学輻合部可視化グループ

1 3. 予稿集の電子化

- ・ 2016年秋季大会より日本地震学会講演予稿集が電子化されました．事前参加登録して頂いた会員には，予稿集ダウンロードのためのURLとパスワードがプログラム公開と同時に連絡されます．会場のネットワーク環境やダウンロード・サーバーの負荷を考慮いただき，大会期間前にダウンロードいただきますようお願い致します．
- ・ 配布方法：秋季大会ホームページより，ファイルをダウンロード
- ・ 公開範囲：大会参加者にURLとパスワードを送付
- ・ 配布期間：1年間
- ・ 電子予稿集は一年後にパスワードを解除して一般公開されます

1 4. その他

- ・ プログラムは秋季大会ホームページ上のみの公開（8月中旬）と致しますのでご了承下さい．

- 日本地震学会の年会費を未納の方は、8月6日（火）までに会費を納入して下さい（事前参加登録締め切りと同日です）。大会会場でも会費納入を受け付けますが、混雑が予想されますので前もって納入頂きますようお願い致します。
- 懇親会は、大会2日目の9月17日（火）の夜に「京大生協吉田食堂」で開催を予定しています。

15. 問い合わせ先など

- 大会全体に関すること
大会・企画委員会
E-mail : [ssj-program\(at\)tokyo.email.ne.jp](mailto:ssj-program(at)tokyo.email.ne.jp)
委員長 : 大林政行 (JAMSTEC)
- 講演申し込みや予稿投稿に関すること
E-mail : [web-system\(at\)tokyo.email.ne.jp](mailto:web-system(at)tokyo.email.ne.jp)
- 日本地震学会ホームページアドレス
<http://www.zisin.jp/>
- 日本地震学会秋季大会ホームページアドレス
<http://www.zisin.or.jp/>

公益社団法人日本地震学会大会投稿規則

2010. 4. 7 制定

2011. 6. 10 改正

2015. 6. 10 改正

(予稿原稿作成)

1. 予稿原稿の形式等に関しては、和文会誌「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従うこと。

(講演申込・予稿投稿)

1. 講演申し込み、予稿投稿は、大会・企画委員会が準備するWEBページを通じて行うこと。WEBによる講演申し込み、予稿投稿が難しい場合には、大会・企画委員会まで問い合わせること。
2. 予稿投稿は、原則として筆頭著者または発表者が行う。投稿に際しては、全ての共著者の了承を得ていること。なお、大会・企画委員会の了解がある場合を除いて、著者以外による代理投稿は認めない。
3. 特別セッションの招待講演を除いて、発表者は日本地震学会の正会員（一般・学生）、または名誉会員であること。
4. その他、同一人による発表制限数等は、「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従うこと。

(投稿料)

1. 講演申し込み者は「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従い、別に定める投稿料を支払うこと。招待講演者も投稿に際して投稿料を支払うものとする。ただし、招待講演者が非会員である場合は、大会・企画委員会の決定に従うこと。

(大会参加登録)

1. 発表者は「地震（ニュースレター部）」に掲載される案内に従い、大会参加登録をしなければならない。このため、別に定める大会参加登録料を支払うこと。招待講演者も大会参加登録料を支払うものとする。ただし、招待講演者が非会員である場合は、大会・企画委員会の決定に従うこと。

(採択・プログラム編成)

1. 講演申し込みの採択は、大会・企画委員会で決定する。以下の場合など、発表に不適切な内容と判断される場合には、発表論文が不採択となる場合がある。
 - ・ 申込内容や予稿原稿の形式に著しい不備がある場合

- ・発表内容が大会およびセッションの趣旨と大きく異なると判断される場合
- ・発表内容が科学的に不適切、あるいは予稿としての体裁が整っていないと判断される場合
- ・発表内容が社会倫理上、不適切と判断される場合
- ・発表の場を確保するなどの目的で、他人名義（ダミー）など虚偽を含む投稿がなされたと判断される場合

なお、軽微な不備については、記録を残した上で採択する。但し、軽微な不備が複数回に及ぶ場合は、不採択となる場合がある。

2. 講演申し込みが不採択となった場合には、大会・企画委員会から投稿者に対して理由を附して通知する。この場合、投稿料は返却する。
3. 不採択の理由を不服とする場合には、日本地震学会理事会に対して再審査を申し立てることができる。
4. 大会・企画委員会の判断により、投稿者の希望とは異なるセッションや発表形態（口頭またはポスター）で採択する場合がある。
5. プログラム編成は、大会・企画委員会が行う。

（採択後の変更・キャンセル）

1. 採択後に筆頭著者あるいは発表者および発表タイトルを変更することは原則として認めない。やむを得ない変更・訂正がある場合は早急に大会・企画委員会まで連絡すること。
2. 病気等やむを得ない事情で発表をキャンセルする場合は、速やかに大会・企画委員会に連絡すること。この場合、既に納められた投稿料及び大会参加登録料は返却しない。
3. 発表日時の変更や発表形態の変更は、大会・企画委員会が必要と判断した場合以外には認められない。

（改廃）

1. この規則の改廃は、大会・企画委員会の決議による。